

## 令和元年度第3回桑名市総合計画審議会 会議概要

日時・場所	令和元年11月5日(火) 13:30~14:30 桑名市役所 3階第2会議室
出席者	委員：8名 市：2名 事務局：6名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 副市長あいさつ</li> <li>3 議案 (1) 桑名市総合計画「後期基本計画」(案)について (2) その他</li> <li>4 副市長あいさつ</li> <li>5 閉会</li> </ol>
概要 (主な意見)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 副市長あいさつ</li> <li>3 議案 (1) 桑名市総合計画「後期基本計画」(案)について</li> </ol> <p><b>【事務局より概要説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショッピングモールの近くで開発が行われているが、先日、街の中でサルが3匹現れた。前々から気にはなっているが、獣害対策はどうなっているのか、開発も大事だが、身近な対策も必要である。また、商工会議所のイベントも年々参加者が減っているように感じる。魅力が伝わっていないのか、どう周知していくかが課題ではないか。</li> <li>・「スクラップアンドビルドの考え方」「ワンストップ窓口」などカタカナ用語が多く、なんとなくは分かるが、わかりづらいこともある。市民には発信するときは、なるべく行政用語はわかりやすくしてほしい。</li> <li>・長島北部地区のまちづくり協議会のアンケートが回覧になって回ってきたが、やはり、交通が不便という意見が多かった。高齢になってから免許の返納を求められても、返納してしまうと病院や役所にいけなくなってしまうなど切実な声が聞かれる。電車はあるが、本数も昼間は1時間に1本程度で少なく、駅でもタクシーが待機していることはなく、呼んでもなかなか来てくれない。バスも使い勝手が悪いなどの状況があり、現状は、車がなければ、不便で、今後どのようにしていくのかと思っている。</li> <li>・高齢になって免許返納をしてしまうと一気に何もできなくなってしまうということがある。歩いて生活ができる中心部に住んでいると忘れがちだが、そういった地域が桑名市内に確かにあり、これから増えていく。今後ともこう</li> </ul>

いった声や視点があることは、総合計画を具体的な政策に落とし込むときにご配慮いただきたい。

・後期計画に記載された「方向性」について、前期計画よりも向上させることなどが矢印で記されているが、後期の方向性だけではなく、前期からどう変化したのかも含め、もう少し工夫して見せることができればよかつたのではないかと感じた。

・多文化共生については、近年急激に外国人の方が増えてきており、総合計画を策定した当初と状況が変わっている。今後は、一緒に住む外国人と、どのよう  
に“まちづくり”をしていくかという視点も考慮していく必要がある。

・外国人施策以外にも、この5年間で状況が急速に変化している項目がある  
と考えられるので、丁寧に見ていく必要がある。実際に政策に落とし込む際には  
こうした状況の変化も意識してもらえればよい。

・冊子についてはカラー刷りでわかりやすく作られており、市民にも分かりやす  
く浸透しやすいと思う。ただし、方向性の矢印記号については、それがどう  
いう意味でどの程度の推移を目標とするのか、数値的な表現がないのでわかり  
づらいと考えられる。県全体の中で桑名市がどういう位置づけなのか、この  
5年間でどういった変化があったのか、分かる資料を添付してもらえればもっと  
県民力と市民力が一体となった内容になると思った。SDGsについては、産業  
界でも関心があるが、桑名市としてどうやって進めていくか具体的に内容が  
分かるとよいのではないかと。

・桑名市は確かによくなっているが、どれくらいなのかという定量的な客観的  
なデータで示してもよいのでは。データ集のようなものがあるのもよい。愛着  
と持って“まち”を自慢するようになるとよい傾向であり、その時にリアルな  
数字があると、裏付けとなってよい。

・防災では、浸水の危険がある地域に避難所があるケースがあり、そういった  
ものは別の場所に移したほうがよいと思う。

・定員適正化計画では、職員を具体的にどういうニーズがあってどういう配  
置にしたかを記載したほうが、市民にとって納得性が高いのではないかと。

・市民満足度調査の結果を見ると、防災から交通まで桑名市でもいろいろな  
ことをやっているが、市民になかなか浸透しておらず、PR不足を感じる。「見  
える化」を図るなど、市民に分かりやすい形をとってほしい。

・市の取組について、自分のような40代の男性にどう広めていくかが課題。  
知り合いの同世代も多くが市外で働いており、日中のほとんどを市外で過ご  
しているため、桑名の情報を得る場所が少ない。

・セントレア利用者の増加に伴い、駐車場が足りないため、バスで空港に向か  
う人が増えているが、桑名市はセントレア行のバスの本数が少ない。市内のタ  
クシーの数も少ないので、観光客が来ても、移動するのに不便ではないかと。

・商工会議所のイベントは主催しても、ピークから2～3割減少している。若  
い人や、家族連れをターゲットに企画を考えているが、なかなか来てくれな  
い。最近秋のイベントも多く、競合するところも多いが、反省すべき要素は  
ある。

・魅力的なお店が多く、繁盛しているお店も多いが、市内に駐車場が少ないと

いうので困っている。大きな市では、宿泊税などの目的税を徴収し、整備の財源としているケースもあり、そういった検討も必要ではないか。

・提供しているサービスについての情報はできる限り伝えていくべきであるが、情報を取りに来ないのは満足度の高さの裏返しである可能性もあり、どういうシグナルなのかを考える必要がある。

交通業界が今までの収益構造で維持できなくなっており、少しの状況変化で撤退してしまう。結果的にそれが市民の不安につながっている。この課題に対しては、当該業界がほかの事業にも参入できるよう、規制緩和することにより対応できる可能性がある。

交通の問題もイベント参加者の減少の問題も背景にあるのは社会の変化である。社会が変わっていく中でどう社会を維持していくかということも SDGs を政策に取り入れていくときに考えなくてはならない。現状を正しいものとしてどう維持するかを考えるのではなく、変わっていく社会にどう馴染ませていくかという視点が必要である。

タクシーに限らず、今まで民間で成り立っていたものが成り立たなくなり、それでも市民が必要としている場合に、行政が手を出していかなければならないことが出てくるかもしれない。総合計画の期間の5年間も大きな変化が予測される。行政として社会の変化に合わせて、柔軟に対応していかなければならない。

・SDGsについては、総合計画に記載するのであれば、具体的に何をやるかにも触れたほうが良い。フランスでは、SDGs を周知するポスターがパリ市内に掲示されている。市民への周知もリンクさせて取り組んでいくべきではないか。

・イラストを適宜使用し、内容がわかりやすく、市民も読んでみようという感覚になる。その中で、前期計画から掲載されている内容ではあると思うが、改めて読んだ際に、子どものキャラクターの吹き出しの内容の一部が、子どもという設定としては“社会を担うかのような負担感”が感じられるところがあった。子どもは守られる対象であり、次回の策定時には、キャラクターの設定と吹き出しの内容とを整理するとよいのではないかと感じた。

・また、「個性を活かす」という表現には少し違和感があり、個性を活かしたくない人もいるので、個性は“尊重”されるという表現が本来ではないかと考える。

・言葉一つの使い方で印象が変わってしまうので、意識をしていかななくてはならない。

・総合計画の策定は、これで終わりということではなく、ここからが始まりである。この計画を、これからどのように活かしていくか。5年間の間には社会背景が大きく変わる可能性があるが、根底には「本物力こそ、桑名」という変わらない考え方を持ちながらも、臨機応変に、桑名がよくなるような取り組みを進めていただきたいと思います。

## (2) その他

これまで審議を進めてきた内容をもとに、答申案をまとめて、市長に提出する旨、会長から各委員に伝達。

(質疑、意見等なし)

	4 副市長あいさつ 5 閉 会
担 当 課	市長公室 まちづくり推進課